

平成25年3月期の業績報告

グループ営業概況

当社グループは、平成24年4月より第3次中期経営計画をスタートさせ、お客さまから選ばれ続ける銀行を目指す方針のもと、お客さまの利便性向上に努めるとともに、より充実した金融商品、金融サービスの提供に注力し、業績の向上と経営体質の強化に取り組んでまいりました。

これらの取り組みの結果、預金等や貸出金の残高が順調に増加するとともに、損益につきましては、債券関係損益を中心にその他業務利益が大幅に増加する中、与信関連費用の減少などもあり、当初計画を大幅に上回る利益を計上することができました。

しかしながら、本業の収益の中心である資金利益などにつきましては、市場金利の低下などの影響から貸出金利回りが低下し、貸出金利息が減少したほか、有価証券利息配当金も減少するなど、本業の収益環境は厳しい状況が続いております。

以上により、連結経常利益は前期比125億76百万円増加の272億42百万円、連結当期純利益は前期比105億23百万円増加の181億25百万円となりました。

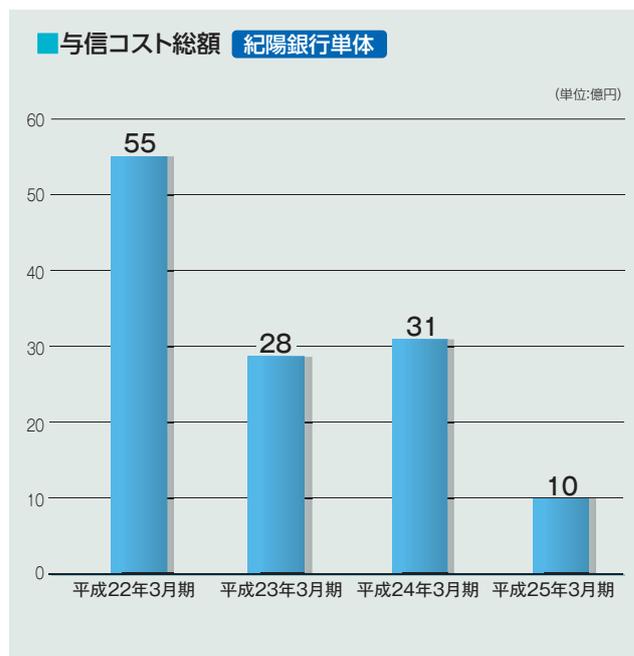
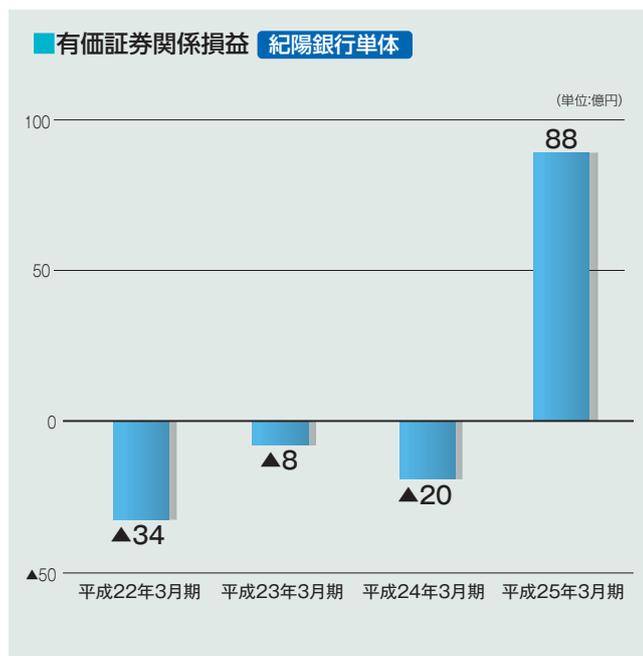
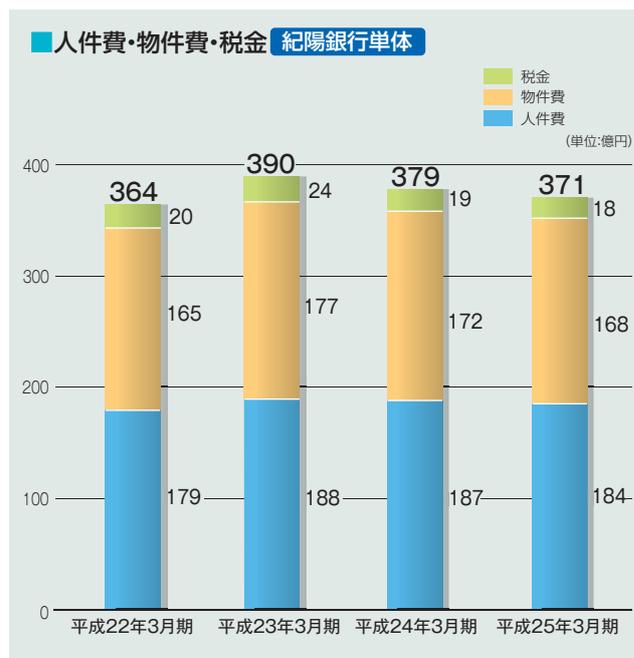
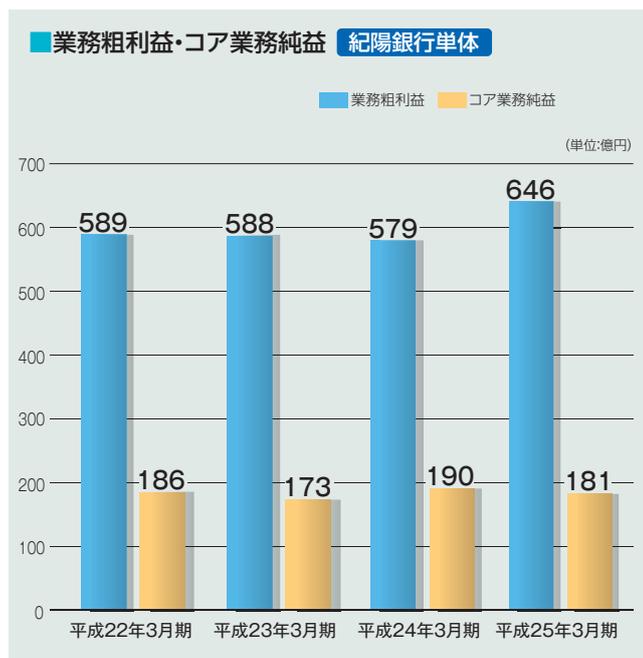
主要な経営指標 紀陽ホールディングス連結

(単位)	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
連結経常収益	百万円 86,213	87,220	84,327	87,206
連結経常利益	百万円 6,626	11,249	14,666	27,242
連結当期純利益	百万円 5,836	6,637	7,602	18,125
連結包括利益	百万円 -	9,727	19,622	27,750
連結純資産	百万円 158,900	165,994	183,034	190,604
連結総資産	百万円 3,673,074	3,771,269	3,854,842	3,927,469
1株あたり純資産	円 168.08	177.31	201.64	235.27
1株あたり当期純利益	円 7.06	8.29	9.67	24.31
潜在株式調整後1株あたり当期純利益	円 5.83	6.70	7.56	19.49
連結自己資本比率 (第二基準)	% 10.90	11.49	11.63	11.14

損益の状況 紀陽銀行単体

(単位:億円)					
	平成22年3月期 実績	平成23年3月期 実績	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 実績	前期比
業務粗利益	589	588	579	646	66
資金利益	508	520	521	506	▲ 14
役務取引等利益	40	39	44	43	▲ 1
その他業務利益	40	29	12	95	83
うち債券関係損益	37	24	9	93	83
経費 (▲)	364	390	379	371	▲ 7
一般貸倒引当金繰入額 (▲)	11	▲ 16	▲ 20	-	20
業務純益	212	213	219	274	54
コア業務純益	186	173	190	181	▲ 8
臨時損益	▲ 128	▲ 84	▲ 69	2	72
うち不良債権処理額 (▲)	62	58	63	21	▲ 42
うち株式関係損益	▲ 72	▲ 32	▲ 29	▲ 5	24
うち償却債権取立益	-	-	11	9	▲ 1
うちその他臨時損益	5	7	11	19	7
経常利益	83	129	150	277	127
特別損益	17	0	13	▲ 0	▲ 14
うち償却債権取立益	18	13	-	-	-
うち退職給付制度改定益	-	-	14	-	▲ 14
法人税等調整額 (▲)	25	45	77	69	▲ 7
当期純利益	75	83	86	192	106
与信費用	74	42	42	21	▲ 21
与信コスト総額	55	28	31	10	▲ 20

(注) 1. 金額は単位未満を切り捨てて表示
2. (▲)は損失項目



紀陽銀行単体ベースの業務粗利益は、資金利益が減少したものの、債券関係損益が大幅に増加したことなどから、前期比66億円増加の646億円となりました。経費につきましては、引き続き経費削減に注力したことや、預金保険料の返戻などにより前期比7億円減少の371億円となりました。これらの結果、コア業務純益は前期比8億円減少の181億円となりました。与信コスト総額につきましては、一般貸倒引当金の取り崩し発生などにより、前期比20億円減少の10億円となりました。

これらの結果、経常利益は前期比127億円増加の277億円、当期純利益は前期比106億円増加の192億円となりました。